

4年生社会科

「自然災害からくらしを守る」

発問及び板書計画（案）

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所

〒790-8574 愛媛県松山市土居田町797-2

TEL : 089-972-0034（代表）

<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>

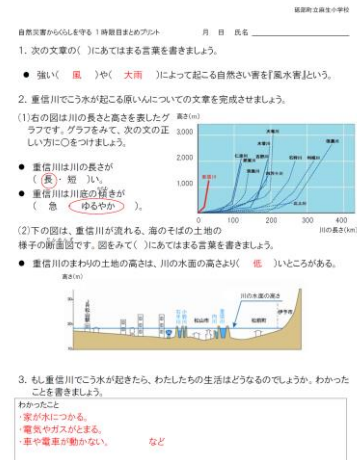
発問及び板書計画(1/3 自然さい害の起こりやすい国土とか川かんきょうがもたらすおんけい)

※水色の文字については、小学4年生にて学習する漢字を示す。

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
<p>導入 (15分)</p>	<p>T：今日は、川とさい害についての話をします。この写真を見てください。何の写真かわかりますか？ 黒板貼り付け：“【写真】重信川流域写真”、“【写真】重信川の上流”、“【写真】重信川の中流”、“【写真】重信川の下流”、 (C：重信川だと思います。)</p> <p>T：そうです。重信川です。重信川を空から写した空中写真です。写真では、川は右から左に流れています。いまみなさんがいる麻生小学校は写真上の★、松山城はここです。このなかで、川で遊んだことがある人はいますか？ (C：はい！あります。)</p> <p>T：では、これらは何の写真かわかりますか？川のいろいろな場所をとった写真で、“しらいの滝”、“キャンプ”、“松原いずみ”、“野鳥の楽園”です。重信川のどのあたりにあるか、わかりますか？遊んだことがあるという〇〇さんと□□さん、前に出て黒板に貼ってみてください。 黒板貼り付け：“【写真】しらいの滝の景観”、“【写真】キャンプ”、“【写真】松原いずみ”、“【写真】ひがた”、“【写真】野鳥の楽園”</p> <p>T：はい、ありがとうございます。正かいは、しらいの滝とキャンプ場は川の始まりの山の方です。いずみはわたしたちの町にもありますね。川の終わりの、海の近くにはひがたがあり、野鳥が見られます。川にはこのようにいろいろな場所があつて、わたしたちもいろいろな景色を楽しんだり、遊んだりすることができます。ふだんは水の少ない重信川ですが、少しでも自然かんきょうを残すように川の中に水面をつくって、いい場所になっていますね。でも、川は時々こんな顔を見せることがあります。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】こう水時の重信川（平成13年6月）”、“【写真】こう水時の重信川（平成29年9月）”を児童に提示</p> <p>T：これはどこがどうなったときの写真でしょうか？ (C：重信川でこう水が起きた時の写真だと思います。)</p> <p>T：正かいです。私たちがふだんからなれ親しんでいる重信川も、最近では平成29年の9月の台風で、写真のように川の水があふれそうになりました。おうちの人のけい帯電話もきん急アラームが鳴ったのではないのでしょうか。先生のけい帯電話も鳴りました。砥部町でも水路の水があふれて建物の床の上まで水がきたところがあったので、みなさんも覚えていることと思います。川は、ふだんは楽しい場所だけれど、きぼの大きい台風がきたり、大雨がふったりすることによって、また、この写真のようなじょうきょうになってしまうかもしれません。</p> <p>T：これから行う3回のじゅ業では台風や大雨で起こる風水害という災害について学習します。今日のじゅ業のテーマはこれです。 ※“授業のめあて”を黒板に書き（もしくは事前に“授業のめあて”を記載したマグネットシート等を黒板に貼る）</p> <div data-bbox="400 1507 1973 1554" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて：風水害はなぜ起こるのか、風水害が起こるとわたしたちの生活はどうなるのか考えよう</p> </div> <p>T：それでは、みなさんでじゅ業のめあてを読んでください。 (C：風水害はなぜ起こるのか、風水害が起こるとわたしたちの生活はどうなるのか考えよう。)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【写真】重信川流域写真</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【写真】重信川の上流</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【写真】重信川の中流</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【写真】重信川の下流</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【写真】しらいの滝の景観</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【写真】キャンプ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【写真】松原いずみ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【写真】ひがた</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【写真】野鳥の楽園</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【写真】こう水時の重信川（平成13年6月）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【写真】こう水後の重信川（平成29年9月）</p> </div> </div>	<p>● 重信川周辺の写真で あることを想起させるには・・・ ・“泉”や“ひがた”が写真に写っているなど、児童に想起させるためのヒントを与える。</p> <p>● “洪水”の定義 ・河川の水位や流量が異常に増大することにより、平常の河道から河川敷内に水があふれること、及び、堤防等から河川敷の外側に水があふれること。 ・水文学における「洪水」の定義では、降雨や融雪などにより河川の水位や流量が異常に増大すること。 ※気象庁HPより</p>

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
<p>展開 (25分)</p>	<p>T：台風や大雨などによって起こる自然さい害のことを『風水害』と言いますが、みなさんは、重信川周辺の地域で一年間にふる雨は、四国のなかで多いと思いますか？少ないと思いますか？ (C：どちらかといえば、少ないです。)</p> <p>T：では、この図を見てください。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【図】年平きんこう水量分布図”</p> <p>T：これは四国の1年間における平きんこう水量を示した図です。この図は青くなればなるほど1年間における雨の量が多い地域であることを示しています。四国の太平洋側に面している県では雨の量が多いことが分かります。反対に愛媛県ではどうでしょうか？重信川のあたりは黒の線で囲って示されていますが、水色で示されており、四国の中でも1年間における雨の量が少ないようですね。</p> <p>T：雨が少ない重信川周辺の地域ですが、どうして風水害が起こるのでしょうか。みなさんがふだんから見ている重信川について考えてみましょう。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【図】重信川水系流いき図”</p> <p>T：重信川は東温市の東三方ヶ森(ひがしさんぼうがもり)を水源として、伊予灘まで流れる、長さ36kmの川です。川の始まる山の方は森林が多く、川が流れる途中には田んぼや畑、果しゅ園があり、また、川の終わりの海のそばには大きな工場や市街地があり、たくさんの人々が生活しています。では重信川の川底のかたむきや長さなどはどうでしょうか？グラフのたて方向が高さ、横方向が川の長さを示し、全国各地の川と重信川とでくらべているこの図を見てください。何かわかることはありますか？ スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【図】重信川の高さと長さ”</p> <p>(C：仁淀川と同じくらい急な川です。) (C：他の川にくらべて短い川です。)</p> <p>T：そうですね。重信川は他の川とくらべて長さが短く、こう配が急な川です。長さが短いということは、川の水が短時間で一気に伊予灘までとう達するということで、重信川は全国でも有数の急流か川です。</p> <p>T：重信川流いきの中でも多くの人々が生活している重信川のか口付近では、川の水位や土地の高さ、まちのじょうきょうはどうなっているのでしょうか。この写真と図を見てください。どうでしょうか？ スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】重信川か口部”、“【図】重信川横だん図(A-A'だん面)”</p> <p>(C：川の水位が周りの土地の高さよりも高いです。) (C：松山城や道後温泉などがある、大きな街です。)</p> <p>T：そうですね。重信川の海の近くになると、重信川の水位よりも周りの土地の高さが低いので、ていぼうが決かいしたり、こう水が起こったりすると、まちがしん水しやすく、ひ害が大きくなるきけんせいがあります。</p> <p>T：さて、ここでまた質問です。去年の台風では砥部町でも道路に水があふれたことを覚えていますか？もし今、たくさん雨がふって重信川の水があふれたら、わたしたちのくらしにどのようなえいきょうがあると思いますか？考えてみてください。 ※街が浸水すると、私たちの生活にどのような影響があるか、児童が考える時間を設ける(5分程度)</p> <p>T：みなさん、どうでしょうか？まちがしん水すると、わたしたちのくらしにどのようなえいきょうがあるか、思いついたひとは手を挙げて発表してください。 (C：家が水につかると、うちのなかのものが全部ぬれてしまいます。) (C：車や電車が動かなくなると思っています。)</p>	 <p>【図】年平きんこう水量分布図</p>  <p>【図】重信川水系流いき図</p>  <p>【図】重信川の高さと長さ</p>  <p>【写真】重信川か口部</p>  <p>【図】重信川横だん図(A-A'だん面)</p> <p>●重信川でこう水が起こる原因を2つの観点から整理 ・こう水が起こる要因を“川の勾配”、“地形”の観点から整理</p>	

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等																																	
	<p>(C：電気やガスが使えなくなると思います。)</p> <p>(C：農作物が流されると思います。)</p> <p>(C：工場が使えなくなると思います。)</p> <p>(C：水の高さが高いと、小さい子ども、おじいちゃんやおばあちゃんはおぼれてしまうと思います。)</p> <p>T：そうですね。みなさん、このイラストを見てください。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：【図】水害のひ害指標分せきの手引きを児童に提示</p> <p>T：このようにしん水する高さによって起こるひ害はちがいます。みなさんのひざ上やこしくらいの高さまで水がくると、家の中に水が入ってきて、停電が起こったり、電車が動かなくなったりするおそれがあります。停電したり、水が出なくなったりすると、何もできずとも困りますよね。電車が動かないと、仕事に行けない人もいし、工場の機械が水につかって動かなくなると、機械がまた動くようになるまで、工場ではたらいっている人は仕事がなくなってしまいます。こう水が起こると、わたしたちの生活だけでなく、産業にもとても大きなえいきょうが出ることがわかりますよね。 ちなみに砥部町でも、過去に起こった災害で、このようなひ害がありました。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：【表】砥部町 気象さい害の記録</p> <p>T：では、今日、重信川についてわかったことを発表してください。 (C：重信川が流れる地域の雨の量は少ないことが分かりました。)</p> <p>(C：重信川は他の川にくらべて短い川で、川底のかたむきが急なので、雨が降ると一気に川を水が流れます。)</p> <p>(C：重信川の水位よりも周りの土地の高さが低いので、街がしん水しやすく、ひ害が大きくなりやすい。)</p> <p>T：そうですね。重信川は、山でふった雨が短い時間で下流部まで流れ、こう水が起こると、その周り（とくに下流部）で大きなひ害を起こすかもしれない川であることを学習しました。ところで、じゅ業の最初に重信川で人が集まる場所についての写真をみましたが、どのような共通点があると思いますか？ (C：自然ですか…?) (C：きれいな場所?) (C：遊べる場所?) (C：広場がある?)</p> <p>T：そうですね。重信川で人が集まる場所は、自然がゆたかできれいなところだったり、遊べる場所があったり、たくさんの方が集まることができる広場があったりしますよね。そこに行くと、ふだんとはちょっと違う気分を味わえます。ただ、自然がゆたかであるということはわたしたちにさまざまなめぐみを与えてくれる一方で、今日勉強したような、自然さい害が起こることもあるのです。</p> <p>T：今日は、主にこう水などの風水害について勉強してきましたが、日本では他にもさまざまなさい害が発生しています。どのようなさい害がありますか？最後に少し考えてみてください。 ※日本で起こる災害を考える時間を設ける（3分程度） (C：地しん) (C：つ波) (C：ふん火)</p> <p>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：【写真】自然さい害（地しん、つ波、ふん火）</p> <p>T：そうですね。このように日本ではこう水だけではなく、ほかにもさまざまなさい害が起こっており、わたしたちの生活に大きなひ害をもたらすことがあるのです。</p>	<p>教材</p>  <p>【図】水害のひ害指標分せきの手引き</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月日</th> <th>雨量</th> <th>被害の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和44年(1970) 6月21日</td> <td>107.0</td> <td>全壊10戸、半壊10戸、一部破損10戸、床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水</td> </tr> <tr> <td>昭和46年(1972) 6月24日～25日</td> <td>107.0</td> <td>床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水</td> </tr> <tr> <td>昭和54年(1979) 9月29日～10月1日</td> <td>107.0</td> <td>床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水</td> </tr> <tr> <td>平成10年(1998) 10月17日</td> <td>107.0</td> <td>全壊10戸、半壊10戸、一部破損10戸、床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水</td> </tr> <tr> <td>平成14年(2002) 8月29日</td> <td>107.0</td> <td>床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水</td> </tr> <tr> <td>平成17年(2005) 7月21日</td> <td>107.0</td> <td>全壊10戸、半壊10戸、一部破損10戸、床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水</td> </tr> <tr> <td>平成20年(2008) 8月29日</td> <td>107.0</td> <td>床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水</td> </tr> <tr> <td>平成23年(2011) 5月11日</td> <td>107.0</td> <td>床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水</td> </tr> <tr> <td>平成25年(2013) 5月11日</td> <td>107.0</td> <td>床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水</td> </tr> <tr> <td>平成29年(2017) 9月17日</td> <td>107.0</td> <td>床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水</td> </tr> </tbody> </table> <p>【図】砥部町気象さい害の記録</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="2012 1270 2240 1417" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">写真</div> <div data-bbox="2249 1270 2478 1417" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">写真</div> </div>  <p>【図】自然さい害（地しん、つ波、ふん火）</p>	年月日	雨量	被害の概要	昭和44年(1970) 6月21日	107.0	全壊10戸、半壊10戸、一部破損10戸、床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水	昭和46年(1972) 6月24日～25日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水	昭和54年(1979) 9月29日～10月1日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水	平成10年(1998) 10月17日	107.0	全壊10戸、半壊10戸、一部破損10戸、床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水	平成14年(2002) 8月29日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水	平成17年(2005) 7月21日	107.0	全壊10戸、半壊10戸、一部破損10戸、床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水	平成20年(2008) 8月29日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水	平成23年(2011) 5月11日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水	平成25年(2013) 5月11日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水	平成29年(2017) 9月17日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水	<p>●重信川の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の河川は比較的急流であり、そのなかでも重信川は全国でも有数の急流河川であることを認識してもらう。
年月日	雨量	被害の概要																																		
昭和44年(1970) 6月21日	107.0	全壊10戸、半壊10戸、一部破損10戸、床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水																																		
昭和46年(1972) 6月24日～25日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水																																		
昭和54年(1979) 9月29日～10月1日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水																																		
平成10年(1998) 10月17日	107.0	全壊10戸、半壊10戸、一部破損10戸、床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水																																		
平成14年(2002) 8月29日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水																																		
平成17年(2005) 7月21日	107.0	全壊10戸、半壊10戸、一部破損10戸、床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水																																		
平成20年(2008) 8月29日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水																																		
平成23年(2011) 5月11日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水																																		
平成25年(2013) 5月11日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水																																		
平成29年(2017) 9月17日	107.0	床上で水につかった家屋2棟、畑の冠水																																		

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
まとめ (5分)	T:では、今日の学習でわかったことを、プリントにまとめてください。 ※まとめのプリントを配付する。今日の学習でわかったことをプリントにまとめる時間を設ける(5分程度)	 <p>【図】1 限目まとめワークシート</p>	

<板書計画>

風水害はなぜ起こるのか、風水害が起こるとわたしたちの生活はどうなるのか考えよう



★重信川周辺の雨の量

- ・雨は少ない

★重信川の特ちょう

- ・ほかの川とくらべて短く、川底のかたむきが急
- ・川の水が流れている高さよりも周りの土地の高さが低いところは、こう水が起こると街がしん水しやすい

大雨が降って川の水があふれると…

- ・家が水につかる
- ・車や電車が走れない
- ・電気やガスがとまる
- ・農作物が流される
- ・工場がとまる




発問及び板書計画(2/3 自然さい害からくらしを守るために)

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
<p>導入 (15分)</p>	<p>T:今日は、この映像から見ましょう。 <u>スクリーン or TV画面：“【映像】 守りきれない洪水は必ず発生する”を放映</u> <u>※ “守りきれない洪水は必ず発生する” (MLITチャンネル) を放映 (1分40秒程度)</u></p> <p>T:これは前回のじゅ業で勉強した、“こう水”についての映像です。川の水位が上がり、道路や家が水につかたり、川岸がこわれてしまったりしています。重信川でも同じようなこう水が起こったときの写真を、紹介しましたね。 黒板貼り付け：“【写真】 こう水時の重信川 (平成13年6月)”、“【写真】 こう水時の重信川 (平成29年9月)”</p> <p>T:そして、重信川はどのような特ちょうを持った川か、覚えていますか？ 覚えている人は発表してください。 (C:重信川は他の川とくらべて短いです) (C:川底のかたむきが急な川です) (C:重信川の下流部になると、重信川の水位よりも周りの土地の高さが低いです)</p> <p>T:そうですね。重信川の特ちょうから、山でふった雨が短い時間で下流部まで流れ、こう水が起こるとその周りに、とくに下流部で大きなひ害を起こすかもしれない川であることを学習しました。また、こう水が起こる原因として、“雨の量”のみではなく、“川底のかたむき”、“川のまわりの状況”などによってこう水は起こるさい害であることを学習しましたね。</p> <p>T:今後、大きな台風がきたり、大雨がふったりすることによって、わたしたちの街も、じゅ業のはじめに見てもらったえいぞうのような状況になってしまうかもしれません。今日は、こう水が起きたらわたしたちのくらしにどんなえいきょうがあるのかということと、わたしたちのくらしを風水害から守るために、さまざまな対さくが行なわれていることについて学習していきます。 今日のじゅ業のテーマはこれです。 <u>※ “授業のめあて”を黒板に書き (もしくは事前に “授業のめあて”を記載したマグネットシート等を黒板に貼る)</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> めあて：風水害によるひ害をへらすために、どのようなことが行われているのか調べよう </div> <p>T:それでは、みなさんじゅ業のめあてを読んでください。 (C:風水害のひ害をへらすために、どのようなことが行われているのか調べよう。)</p>	<div style="text-align: center;">  <p>【映像】“守りきれない洪水は必ず発生する”</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【映像】“守りきれない洪水は必ず発生する” “より抜粋 (関東・東北豪雨)”</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【映像】“守りきれない洪水は必ず発生する” “より抜粋 (平成28年8月豪雨)”</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【写真】 こう水時の重信川 (平成13年6月)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【写真】 こう水時の重信川 (平成29年9月)</p> </div> </div>	<p>● “洪水の恐ろしさ”を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> 洪水による被害の様子や被害の状況に関する映像を使って、児童に洪水の恐ろしさを伝える。 <p>● 1コマ目の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 1コマ目で学習した“重信川での災害(こう水)”、“その原因”、“日本で起こる災害”の観点から復習を行う。
<p>展開 (25分)</p>	<p>T:ところでみなさんは、どうして重信川というの名前なのか知っていますか？ (C:知りません)</p> <p>T:重信川の「重信」というのは、実は、人の名前という説があります。むかし、重信川は「伊予川」とよばれていて、大雨がふるたびにこう水が起きて田んぼや畑がながされ、人も大ぜいぎせいになる「あばれ川」でした。え戸時代になって、松山藩主の加藤嘉明(よしあき)というお殿さまの命令で、家臣の足立重信という人が、あばれ川を治めるために川の流れ方を変える大工事をしました。 <u>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【図】 加藤嘉明”、“【図】 足立重信”</u></p> <p>T:そのおかげで、川沿いの田畑は水害が少なくなり、農作物を育てるために必要な水を田畑に引くことができるように整備されたので、たくさん農作物がとれるようになりました。 人々は、重信のりっぱなはたらきをたたえて、伊予川を重信川と呼ぶようになったのです。日本の川で人の名前がついているのは、この重信川だけなのではないか、とされています。足立重信はそれだけ大変なことを成しとげたのですね。</p> <p>T:足立重信のおかげで、こう水は少なくなりましたが、それでも重信川はまだまだ暴れん坊で、そのあともこう水が何度も起こっています。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【図】 加藤嘉明</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【図】 足立重信</p> </div> </div>	

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
	<p>T：ではみなさん、今はどのようにしてこう水などを防いでいるか知っていますか？知っている人は手を挙げて、発表してください。 (C：ていぼうをつくる) (C：川の上流にダムをつくる) 黒板貼り付け：“【写真】ていぼう”、“【写真】石手川ダム”</p> <p>T：そうですね。ていぼう、ダムなどがありますね。ていぼうは、みなさんがふだん目にしていて知っていると思います。川の両脇に土を高く盛ったもののことをいいます。ていぼうには川の水があふれにくいようにする役目があります。では次に、ダムについて少し説明しますね。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】石手川ダム”（黒板に貼り付けたものと同じものを使用）</p> <p>T：この写真は、石手川の上流にある、石手川ダムです。昭和18年と昭和20年の大雨で、重信川と石出川で、家が流されたり水につかったり、大変なひ害が起こったため、国が、石手川ダムをつくりました。石手川ダムの役わりは、洪水のときに川に流れる水の量を減らしてこう水から街を守ることなのです。そのほかにもダムでは、日照りが続いて川の水がへらないようにするため水を貯め、少しずつ水を流したり、ダムの水は、みなさんの飲み水や農業用にも使われていたりするのですよ。</p> <p>T：このように、モノをつくって風水害にそなえることを『か川整ひ』といいます。しかし、ていぼうやダムをつくるだけでは、風水害からのひ害はなくなりません。さらにひ害を小さくするため、ふだんから行われていることがあるのですが、それはどのようなことでしょうか？写真を見て気付いたことを発表してください。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：【写真】ていぼうの草かり、【写真】か川パトロール、【図】重信川か川防さいステーション、【写真】川底を整える どんな仕事をしていますか？何が写っていますか？ (C：ていぼうで草かりをしています) (C：ショベルカーで、土を掘っています) (C：川の見まわりをしている？) (C：松山市にある水防センターがみえます)</p> <p>T：はい、そのとおりです。もしもこう水が起こったときに、ていぼうやしせつがこわれてひ害が大きくなってしまわないよう、いじょうがあったらすぐわかるようにていぼうの草かりをしたり、川の様子を見まわったりしています。また、水が流れやすくなるように、川の底を掘ることなどもしています。 ほかにも、水ぼう倉庫や水ぼうセンターをつくって、こう水が起こったときにひ害を大きくしないために使う道具や、いざというときの食料などをたくわえています。砥部町では役場や、消防署、高尾田などに水ぼう倉庫がありますし、愛媛県は松山市にある重信川か川ぼう災ステーションに水ぼう倉庫をつくってそなえています。 ほかにも町はいざというときに逃げる先となるひなん所を整ひしたりしています。 わたしたちのくらしを守るために、ふだんからさまざまな人達がいろいろなことをしていますね。</p> <p>T：草かりや川のパトロールのように、ていぼうなどの様子を日びかくにんして風水害にそなえることを「か川管理」といいます。重信川では、それに加えて、堤防のひとつであるかすみていや、いずみなどのか川かんきょうを整える「自然さい生事業」も行われています。 例えば、松原いずみは、水がない期間やはんいが長くなり、魚がとても住みにくいかんきょうでした。そこで、重信川といずみをつなげるようにし、水辺の植物や林をさい生し、水をきれいにしたことで、魚だけでなくこん虫や鳥もやってくるようになりました。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】かすみてい”、“【図】かすみていのはたらき”、“【写真】再生された松原いずみ”、“【写真】松原いずみで虫取り(左) かんきょう学習(右)”</p>	 <p>【写真】ていぼう</p>  <p>【写真】石手川ダム</p>  <p>【写真】ていぼうの草かり</p>  <p>【写真】か川パトロール</p>  <p>【写真】川底を整える</p>  <p>【写真】重信川か川防さいステーション</p>	<p>●治水対策の説明について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の回答が合っている場合、写真を提示。 ・回答が出てこない場合は先に写真を提示し、回答させることも可

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等																		
	<p>T：ふだんはよいかんきょうのなか、自然観察会やこん虫さい集が行われていますよね。こうやって川の周辺の自然かんきょうも整えることで、川の生き物が住みやすくなり、みなさんが虫や魚をとったりして川で遊びやすくなったりできるようにもなります。</p> <p>T：では、みなさん、グループになってください。いままではこう水からくらしを守るためにふだん行われていることを学んできましたが、実さいにこう水などの風水害が起こった時、どのようなことが行われるでしょうか？平成29年9月の台風によって、重信川で起こったこう水の写真を参考にして、こう水時にどのようなことが行われるかをグループで話し合ってみて予想し、ノートにまとめてください。</p> <p>（黒板に貼り付けたこう水時の重信川の写真を児童に示す） ※重信川で起こったこう水の写真を参考にして、どのようなことが行われるか考える時間を設ける（3分程度）</p> <p>T：みなさん、どうでしょうか？ こう水時にどのようなことが行われるか、思いついたひとは手を挙げて発表してください。 （C：消ぼうや自衛隊の人たちが、ケガをしている人たちを救助します。） （C：町役場の人たちが車などを使って、住民にひなんを呼びかけます。） （C：建設会社の人たちが重機をつかって、どろをよけたり、土のうを積んだりします。）</p> <p>T：そうですね。それでは、こう水が起こった時に、どんな人達が、どんな働きをするのか、イラストを見てください。 黒板貼り付け：“【図】風水害の発生時に働く人びとのイラスト”</p> <p>T：このイラストは、こう水の発生時に働く人々を示した図です。イラストを見て、どんな人達が、どんな働きをしているか、わかる方は手を挙げて、発言してください。 （C：けい察官がひなんする人をゆうどうしています） （C：救急隊員がけが人を運んでいます） （C：ていぼうを直している人がいます） （C：電柱をしゅう理している人がいます） （C：マスコミの人がレポートしています） （C：自衛隊が人びとの救助をしています）</p> <p>T：そうですね。ではここでプリントを配ります。配ったプリントと黒板に貼り付けているイラストや写真を使って、風水害が起こった時に働く人びとについての説明をします。 A4 配付プリント：“【表】重信川で風水害の発生時に働く人びとの仕事内よう”</p> <p>T：イラストの中で、川からの水がていぼうからあふれないようにしたり、こわれないようにするための『水ぼう活動』をしたり、こわれたところを直しているのは、水ぼうだんや川を管理する人達です。水ぼうだんの人達は、土のうという土が入ったふくろを積み上げて、水があふれないようにしていますね。水ぼうだんとは、地いきの住民で組まされた団体です。さい害が発生しそうなのは川の見回りをし、イラストのようにていぼうのけっかい等のさい害を未然にふせぐために土のうを積むなど、水ぼう活動を行います。ふだんはさい害時にそなえて、水ぼう訓練等を行っています。砥部町では、消ぼうだんの人、水ぼうだんの役わりをつとめています。みなさんのまわりのおとなにも消ぼうだんいんの人がいるかもしれませんね。</p> <p>スクリーン or TV画面 or A3 手持ち資料：“【写真】訓練”、“【写真】ひさいか所のおう急ふっきゅう” <“ひさいか所のおう急ふっきゅう”の写真について> この写真は訓練のときの様子ですが、水ぼうだんの人たちが、土のうを積んだり、土のうを使ってていぼうのしゅう理を行ったりしています。</p>	<p>教材</p>  <p>【写真】かすみてい</p>  <p>【図】かすみていはたらき</p>  <p>【写真】再生された松原いずみ</p>  <p>【写真】松原いずみで虫取り(左)かんきょう学習(右)</p>  <p>【図】こう水の発生時に働く人びとのイラスト 解説書 P19</p> <table border="1" data-bbox="2154 1209 2347 1444"> <thead> <tr> <th>職名</th> <th>仕事内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>警察官</td> <td>災害発生時に、現場に駆けつけ、被害状況を把握し、交通規制を行う。</td> </tr> <tr> <td>消防士</td> <td>火災発生時に駆けつけ、消火活動を行う。</td> </tr> <tr> <td>救急隊員</td> <td>けが人を発見し、現場で応急処置を行い、病院へ搬送する。</td> </tr> <tr> <td>自衛隊員</td> <td>災害発生時に駆けつけ、物資の配布や、被災者の救助を行う。</td> </tr> <tr> <td>土木技師</td> <td>災害発生時に駆けつけ、被害状況を確認し、復旧作業を行う。</td> </tr> <tr> <td>水防士</td> <td>洪水発生時に駆けつけ、土のうの積み上げや、堤防の修繕を行う。</td> </tr> <tr> <td>報道記者</td> <td>災害発生時に駆けつけ、被災者の様子や、救援活動の様子を取材する。</td> </tr> <tr> <td>ボランティア</td> <td>災害発生時に駆けつけ、被災者の支援活動を行う。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表】重信川で風水害の発生時に働く人びとの仕事内よう 解説書 P20</p>  <p>【写真】訓練</p>  <p>【写真】ひさいか所のおう急ふっきゅう</p>	職名	仕事内容	警察官	災害発生時に、現場に駆けつけ、被害状況を把握し、交通規制を行う。	消防士	火災発生時に駆けつけ、消火活動を行う。	救急隊員	けが人を発見し、現場で応急処置を行い、病院へ搬送する。	自衛隊員	災害発生時に駆けつけ、物資の配布や、被災者の救助を行う。	土木技師	災害発生時に駆けつけ、被害状況を確認し、復旧作業を行う。	水防士	洪水発生時に駆けつけ、土のうの積み上げや、堤防の修繕を行う。	報道記者	災害発生時に駆けつけ、被災者の様子や、救援活動の様子を取材する。	ボランティア	災害発生時に駆けつけ、被災者の支援活動を行う。	<p>●風水害が起こりそうな時もしくは起こった時に働く人達の仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストの説明に写真を活用し、児童に説明を行う。
職名	仕事内容																				
警察官	災害発生時に、現場に駆けつけ、被害状況を把握し、交通規制を行う。																				
消防士	火災発生時に駆けつけ、消火活動を行う。																				
救急隊員	けが人を発見し、現場で応急処置を行い、病院へ搬送する。																				
自衛隊員	災害発生時に駆けつけ、物資の配布や、被災者の救助を行う。																				
土木技師	災害発生時に駆けつけ、被害状況を確認し、復旧作業を行う。																				
水防士	洪水発生時に駆けつけ、土のうの積み上げや、堤防の修繕を行う。																				
報道記者	災害発生時に駆けつけ、被災者の様子や、救援活動の様子を取材する。																				
ボランティア	災害発生時に駆けつけ、被災者の支援活動を行う。																				

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
	<p>T：他には、国の機関である気象台と国土交通省が協力してこう水予ほうを行います。そのため、国や県の人達はカメラで川の様子をかんさつしています。カメラからわかった情報はインターネットやテレビでみなさんに伝えます。</p> <p>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】カメラによるか川じょうほうのしゅう集”、“【写真】川のぼうさいじょうほう”、“【写真】地デジ放送によるぼうさいじょうほうのていきょう”</p> <p>< “カメラによるか川じょうほうのしゅう集” の写真について ></p> <p>さい害時には、ていぼうなどにせっ置しているカメラで、国や県はか川のじょうきょうをしゅう集し、市や町に連らくをします。</p> <p>< “川のぼうさいじょうほう” の写真について ></p> <p>国や県がしゅう集した川のじょうきょうや、ひなんのはんだんに必要なじょうほうを「川のぼうさいじょうほう」というホームページでいきょうしています。</p> <p>< “地デジ放送によるぼうさいじょうほうのていきょう” の写真について ></p> <p>テレビリモコンのd ボタンを押すことで、テレビからぼうさいじょうほうがていきょうされます。</p> <p>T：また、この川のじょうほうを受けて、町の人が地域の人々にひなん指じを発令したり、県の人が関係機関に連らくしたりします。町の人には、ひなんじょうほうを伝えるのに、屋外のかく声器や電子メールを使います。</p> <p>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】屋外のかく声器”</p> <p>< “屋外のかく声器” の写真について ></p> <p>町は、国や県から連らくを受けて、屋外のかく声器や電子メールなどをつかって、ひなんじょうほうを知らせます。</p> <p>T：このように、さまざまな人が協力してひ害を最小げんにおさえるために働いています。</p> <p>T：ところで、先ほど紹介した石手川ダムですが、実さいに大雨がふったとき、このようなはたらきをしています。</p> <p>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】雨がふる前のダム”、“【写真】大雨後のダム”、“【図】石手川ダムの役わり”、“【写真】ダムの放流”</p> <p>T：写真をみてください。大雨がふったあと、ダムが水を貯めているのがわかりますね。ダムがないと、川の上流にふった雨は、川を一気に流れ下ってしまって、下流であふれてしまうきけんがあります。そんなことにならないようダムで水を貯めながら、放流をして少しずつ川に流すこと（「調節」という）をしているのです。</p>	  <p>【写真】カメラによるか川じょうほうのしゅう集</p>   <p>【写真】インターネットでみる川のぼうさいじょうほう</p> <p>【写真】地デジ放送によるぼうさいじょうほうのていきょう</p>  <p>【写真】屋外のかく声器</p>   <p>【写真】雨がふる前のダム</p> <p>【写真】大雨後のダム</p>   <p>【図】石手川ダムの役わり</p> <p>【写真】ダムの放流</p>	

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
<p>まとめ (5分)</p>	<p>T：それでは、今日の学習で分かったことを、ノートにまとめてください。 ※今日の学習で分かったことをノートにまとめる時間を設ける（1分程度）</p> <p>T：ノートにまとめたことを発表してください。 (C：風水害によるひ害をへらすために、国や県や町の人たちがいろいろな仕事をしていることがわかりました) (C：風水害が起こったら、さまざまな人が協力して働いていることがわかりました) (C：たくさんの人達が、わたし達のくらしの安全のために働いていることがわかりました)</p> <p>T：それでは、今日のまとめです。</p> <p>まとめ：風水害などの自然さい害のひ害を小さくするためにさまざまな人びとが協力して安全を守っている</p>		

<板書計画>

風水害によるひ害をへらすために、どのようなことが行われているのか調べよう

こう水時の重信川




治水対さく（か川せいび）



ていぼう



ダム

風水害時に働く人びと



ふだんから行われていること

国→か川かんり
県→水ぼう倉庫の設ち、か川かんり
町→水ぼう倉庫の設ち、ひなん所のせいび

か川かんり…てい防の草かり、みまわり、点検など

さまざまな人びとが協力している

ひ害を小さくするために…


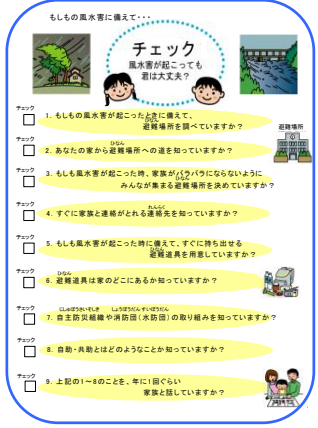
- ・こう水を予想 国などの
- ・関係機関に連らく →いろいろな
- ・ひなん指じを発令 機関

ひなんをゆうどう→けい察官

- ・けが人を運ぶ→消ぼう
- ・人びとを救助する→自えい隊
- ・ていぼうをしゅう理→国土交通省
- ・土のうを積む→消ぼう団（水ぼう団）
- ・電線をしゅう理→電力会社
- ・電車を止める→鉄道会社
- ・じょうほうを伝える→マスコミ

風水害によるひ害を小さくするために
さまざまな人びとが協力して安全を守っている

発問及び板書計画(3/3 自然さい害にそなえてできることを考えよう)

配分時間	教師の発問(児童の反応)	教材	指導上の留意点
<p>導入 (10分)</p>	<p>T: みなさん、これまで「自然さい害からくらしを守る」について学習してきましたが、これまでのじゅ業についてふり返ってみましょう。 黒板貼り付け：“【写真】こう水”</p> <p>これまで2回行ったじゅ業のまとめで、覚えていることを発表してください。 (C: 風水害が起こるとわたしたちのくらしにえいきょうがでる。) (C: 風水害などの自然さい害のひ害を小さくするためにさまざまな人びとが協力して安全を守っている。)</p> <p>T: そうですね。重信川で風水害はどのようにして起こるのか、風水害が起こるとわたしたちの生活はどうなるのか、1時間目に学習しましたね。そして、2時間目は、風水害によるひ害をへらすために行われていることについて、実さいにさい害が起こったときに働いている人びとについて学習しました。 では、風水害によるひ害を防ぐために、わたし達自身に何かできることはないでしょうか? 今日のじゅ業ではこのようなことを学習したいと思います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> めあて: 水害などにそなえて自分達ができることはなんだろう </div> <p>T: 今日は、砥部町でも起こる可能性がある水害にそなえて、みなさんがふだんできることは何かを考えていきましょう。</p>	 <p>【写真】こう水</p>	<p>・簡潔に1~2時間をふり返る。</p>
<p>展開 (30分)</p>	<p>T: では、これからプリントを配ります。 A4 配付プリント：“【図】チェック 風水害が起こっても君は大じょう夫?”</p> <p>T: これから水害にそなえて、みなさんがふだんから行っていることをチェックしてみましょう。 T: これから先生が読み上げるので、チェックをしてみてください。 ※【図】チェック 風水害が起こっても君は大じょう夫?を読み上げ</p> <p>T: どうでしたか? いくつチェックが付きましたか? (C: 全然チェックが付きませんでした) (C: ●つしかチェックが付きませんでした)</p> <p>T: みなさんチェックの数が少ないですね。みなさん、グループになってください。 これからこのチェックリストを参考にして、水害にそなえて、わたし達がふだんからできることは何なのか、グループで話し合っノートにまとめてください。</p> <p>T: ではみんなで話し合ったことを発表してください。 ※児童の回答を黒板に書き出す</p> <p>(C: ひなん所を調べておくことだと思います) (C: ひなん場所への道を調べておくことだと思います) (C: 家族と連らくが取れる連らく先を調べておくことだと思います) (C: ひなん道具を用意しておくことだと思います) (C: 家族で話し合うことだと思います)</p> <p>T: そうですね。そのとおりです。これらはうちに帰ったら、おうちの人とぜひ相談してみてください。では、これから、チェックリストの1と2についてみなさんにかくにんしてもらいます。ひなん所の場所やひなん所への道のかくにんには、砥部町の「こう水ハザー</p>	 <p>【図】チェック 風水害が起こっても君は大じょう夫? 解説書 P27</p>	

配分時間	教師の発問(児童の反応)	教材	指導上の留意点
	<p>ドマップ」というものを使います。 黒板貼り付け&A3 配付プリント：“【図】 砥部町こう水ハザードマップ”</p> <p>T：このハザードマップを使って、水害が起こった時に、みなさんがひなんする場所をかくにんしてみましょう。みなさんが住んでいる場所から一番近いひなん場所は、どこになりますか。 (C：●●小学校(●●中学校、●●集会所、●●保育所)です。)</p> <p>T：そうですね。ひなんする場所は●●小学校(●●中学校、●●集会所、●●保育所)です。</p> <p>【避難所が浸水範囲外の場合】</p> <p>T：では、みなさんの住んでいる場所から●●小学校(●●中学校、●●集会所、●●保育所)にひなんするには、どこを通れば安全でしょうか？しん水する場所を通過してひなんするのはきけんですね。みなさんが住んでいる場所からすばやくひなんできて、なおかつ安全な道をかくにんしてみましょう。</p> <p>T：では、みなさんに、ひなんけい路を黒板の地図で説明してもらいます。 (C：ここはしん水するので、ここを通過してひなん場所へ行けばいいと思います)</p> <p>T：そうですね。このように、ふだんからハザードマップを使って、ひなん場所やひなん場所へのけい路を家の人とかくにんしておきましょう。</p> <p>【避難所が浸水範囲内の場合】</p> <p>T：でも、ちょっとよくみてください。●●小学校(●●中学校、●●集会所、●●保育所)の場所は、ハザードマップでは色がついています。この色は、もしこう水が発生した場合に、この場所は、水につかってしまう、ということを表しています。どうすればよいのでしょうか。 (C：色のついていない場所にある、ひなん所に行けばよいと思います。でも遠いです…)</p> <p>T：そうですね、例えば、▲▲小学校や▲▲中学校にひなんすることができますね。ひなんするときは、道路が水につかってしまう前に、早めに行動することがとても大事です。でも、遠いため早く動きたいからといって、車でひなんはきけんです。もしも道路に水がたまってしまった場合、車が水につかると動かなくなったり、水あつでドアが開かなくなったりするからです。もしも、水が家の周りまで来ていたり、また、夜で暗かったりして足元がみえない場合には、無理にい動することは大変きけんです。そのときは、家の二階以上や近所の高い建物など、できるだけ高いところにい動してください。</p> <p>T：ふだんからハザードマップを使って、ひなんできる場所や、その場所へのけい路を家の人とかくにんしておきましょう。</p> <p>T：また、一人でるすばんをしているときに、ひなんをしなければならないじょうきょうになるかもしれません。そんなときはどうするかも、家の人と相談しておくとういいますね。</p> <p>T：ところで砥部町には、さい害時に地いきの住民でたがいに協力し助けあう、“自主ぼうさい組しき”というだん体があります。自主ぼうさい組しきは自然さい害の発生などできけんなじょうきょうになったとき、となり近所の人たちがおたがい協力して助け合い救出救ご、通ほう、ひなんゆうどうなどを行う組しきです。砥部町の自主ぼうさい組しきは、町内で56結成されています。困ったときは、地いきの人達で助けあうことも大切ですね。</p>	<div data-bbox="2041 310 2439 592" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 20px;"> <p>ハザードマップ</p> </div> <p>【図】 砥部町こう水ハザードマップ (砥部町総合防災マップ 砥部地区(表)) 解説書 P28</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単に、ハザードマップの説明をする。 ・避難所が洪水時に対応している場合としていない場合があることに留意する。 どちらの場合であっても、普段から避難場所や避難経路を確認しておくことは大切であることを意識づけるようにする。 ● “洪水から命を守るための3つのポイント” ・①どんな危険があるのか調べておうちの人と話あおう ②浸水が始まる前に逃げる ③安全に避難する方法を知っておくことが示されている。 (国土交通省子ども向け動画「洪水から身を守るには～命を守るための3つのポイント～」より http://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/movie/movie.html)

配分時間	教師の発問(児童の反応)	教材	指導上の留意点
	<p>T:では、これからプリントを配ります。このプリントを参考にして、水害が起こりそうな時、または起こった時に、わたし達自身でできることをグループで話し合っってノートにまとめてください。 A4 配付プリント：“【図】風水害に対する心がけ・きん急時の心がけ”</p> <p>T:ではみんなで話し合ったことを班ごとに1つずつ発表してください。 ※児童の回答を黒板に書き出す (C:川の水位に注意して、水位がきけんなところまで高くなったらみんなに知らせてひなんすることだと思います) (C:テレビやラジオで天気やぼうさいじょうほうをかくにんして、ひなんのじゅんびをしておくことだと思います) (C:ひなんの呼びかけやひなん指じがあつたら速やかにしたがって、ひなんすることだと思います) (C:ひなんするときは、お年よりや子どもをゆう先し、落ち着いて行動することだと思います) (C:近所の人達にひなんの呼びかけをすることだと思います)</p> <p>T:そうですね。そのとおりです。このプリントには、水害が起こりそうな時や起こった時に自分の身を守るために知っておきたいこと、そなえておきたいこと、が書いてあります。じゅ業が終わったら、持って帰っておうちの人もみせてあげてくださいね。また、プリントにも書いてありますが、ひなんするときに持ち出すものなどは、みなさんのうちによってちがいます。例えば赤ちゃんがいるおうちだと、ミルクやおむつが必要ですね。おうちの人のいっしょに、何が必要か、ぜひ考えてみてください。</p> <p>T:さて、ここまで水害にそなえてふだんからできること、水害が起こった時にできることを考えてきましたが、地しんやつ波などの、水害以外の自然さい害が起こった時と共通することはあるでしょうか？ (C:ひなん場所を調べておくことは共通していると思います) (C:ひなん道具を用意しておくことも共通していると思います) (C:家族と連らくが取れる連らく先を調べておくことも共通していると思います) (C:ふだんから家族で話し合うことも共通していると思います) (C:ひなんするときはお年よりや子どもをゆう先し、落ち着いて行動することも共通していると思います) (C:ひなんのよびかけ・ひなん指じに速やかにしたがうことも共通していると思います) ※共通している項目に赤丸を付けていく。</p> <p>T:そうですね。他にもテレビやラジオでぼうさいじょうほうを知ることも共通していますね。 万が一の水害にそなえて、何をしなければならぬか、水害が起こった時どのように行動しなければならぬかを知っておくことはとても大切です。また、これらのことは、水害にかぎらず地しんなどの自然さい害についても同じです。</p>	 <p>【図】風水害に対する心がけ ・きん急時の心がけ</p>	<p>・解説書 p22～25 を参考に、なぜこれらの行動が大切なのかを説明する。</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>T:それでは、今日の学習で分かったことを、ノートにまとめてください。 ※今日の学習で分かったことをノートにまとめる時間を設ける (1分程度)</p> <p>T:ノートにまとめたことを発表してください。 (C:水害の時にひなんする場所がわかりました) (C:水害にそなえておくことは大切だということがわかりました) (C:自然さい害が起こった時にどのように行動しなければならぬかを知っておくことは大切だということがわかりました)</p> <p>T:それでは、今日のまとめです。 まとめ:水害にかぎらず、自然さい害にそなえて、ふだんから自分にできるそなえを行うことが大切である</p>		

水害などにそなえて自分達ができることはなんだろう



こう水

水害が起こりそうな時、起こった時にできること

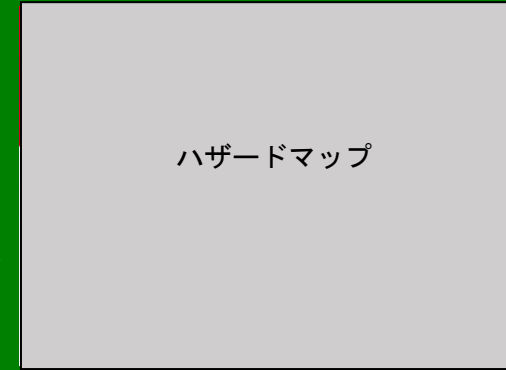
- ・川の水位に注意する
- テレビやラジオで天気やぼうさいじょうほうをかくにんする
- ひなんのよびかけ・ひなん指じに速やかにしたがう
- ひなんするときはお年よりや子どもをゆう先し、落ち着いて行動する
- 近所の人達にひなんの呼びかけをする

水害にそなえてふだんからできること

- ひなんする場所を調べておく
- ひなん場所への道を調べておく
- 家族と連らくが取れる連らく先を調べておく
- ひなん道具を用意しておく
- 家族で話し合う

○ →水害以外の自然さい害でも自分達にできることは共通している

ハザードマップ



ハザードマップ

水害に限らず自然さい害にそなえて、ふだんから自分にできるそなえを行うことが大切である